

広袴祭り

広袴町内会
会報第67号

発行日
2025(令和7)年
10月1日

発行責任者
広袴町内会
水野 利雄

町作りの5つの柱

- 1 安心、安全な町
- 2 子どもお年寄りを大事にする町
- 3 きれいで清潔な町
- 4 伝統、文化を大切にする町
- 5 ご近所の触れ合いのある町

納涼夏祭り大会

猛暑に負けない熱気と笑顔！
広袴の夏、最高潮へ

うだるような暑さが続いた七月二十六日。
その熱気に負けないほどの活気が、夕暮れの
広袴公園にあふれていました。広袴町内会・海
野副会長による高らかな開会宣言を皮切りに、
今年も町内会最大のイベント「納涼夏祭り大
会」が盛大に幕を開けました。

祭りの始まりを告げたのは、勇壮な「ゆら太
鼓」の響き。力強いバチさばきが、これから始
まる楽しい夜への期待感を一気に高めます。

会場にずらりと並んだ出店からは、早くも食
欲をそそる香りが立ち上ります。特に、炭火で
一本一本丁寧に焼き上げられる焼き鳥の香ばし
い煙は、道行く人の足を止め、あつという間に
長い列ができました。ほかにも、ホクホクの
じゃがバター、定番のフランクフルトや焼きそ
ば、味の染みた玉こんにゃくなど、祭りの味覚
を求める人々で賑わい、猛暑の中、冷たい飲み
物を求める人の列も絶えませんでした。

日が暮れ始めた頃、鶴川地域を拠点に活動
し、今年で結成四十一周年を迎える「鼓だぬ
き会」の皆さんが登場。小学生からベテラン
まで、息の合った迫力満点の演奏を披露し、
会場は万雷の拍手に包まれました。

そして、提灯の明かりが幻想的に揺れる
頃、祭りはクライマックスへ。広袴が誇る踊
り子のみなさんが櫓（やぐら）に上がり、定
番の「炭坑節」の音頭が流れると、櫓の周り
には自然と踊りの輪が広がります。見よう見
まねで踊る子どもたち、慣れた手つきで優雅
に踊るご婦人方。世代を超え、地域の内外を
問わず、誰もが一体となって夏の夜を楽しみ
ました。

子ども会コーナーでは、お目当ての景品を
狙うくじ引きや、お菓子の配布に子どもたち
の歓声が響きます。また、さわの会の皆さん
が手掛けた温かみのある手芸品は、今年も多
くの人の心を引きつけていました。

この素晴らしい一日を支えてくださった、
準備・運営に携わった役員の皆様、そしてボ
ランティアの皆様に、心より感謝申し上げます。
来夏の夏も、
この場所でもまた笑顔でお会いしましょう。



夏祭り準備の様子

ありがとう！

納涼夏祭りを支えたヒーローたち

華やかで楽しかった納涼夏祭り。

あの最高の一日は、決して自然にやってくるわけではありません。

その裏側には、何か月も前から準備を重ねてきた、たくさんさんの「縁の下の力持ち」たちの汗と笑顔がありました。

大変なこともあるけれど、準備期間はまさに「もう一つのお祭り」。



仲間と汗を流し、一つものを作り上げる達成感は格別です。
当日の感動も、きっと何倍にもなるはず。
「ちょっと面白そう」そう感じたあなた、来年は一緒に祭りのヒーローになりませんか？



クリーンアップデー

五月十八日(日)、恒例の「クリーンアップデー」が開催されました。毎年新しい班長さんの体制になって最初の行事がこのクリーンアップデー。スタート時間の午前九時三十分に私も自宅を出て見回してみると、さっそく各班の班長さんとみられる方がボランティア袋を持っ

てこまめに状況確認している姿が見えます。さすがです！新班長さん、皆様きちんと仕事をし

てらっしゃいます(笑)！

私にとっても今回は初めての広報の取材です。折角なので普段中々行かない地域の班の光景も見てみたいと思い、お邪魔にならない程度にウロウロして写真も取らせて頂きました。

広報で取材に来ていること。また写真も撮りたい事からお邪魔したところで必ず「おはようございます！広報部です。取材にきました。もしよろしかったら写真撮らせてもらっても大丈夫ですか？」とこのような挨拶と声掛けをさせて頂きました。

そうしたらどの班でも皆様とても気持ち良く挨拶を返して頂きました。そして多くの方に逆に私が「お疲れ様です」と言ってもらえました。とても嬉しかったです！

また「写真ですか？前は恥ずかしいから後ろ姿だったらいいですよ！」と快諾していただいたり、「一生懸命作業しているように撮って下さいね(笑)」とか「写真？じゃ必死にやっ

ているフリしなきゃ(笑)」などと言った楽しいやり取りも経験させて頂きました。

場所によっては公共スペースがとても広く作業量も大変な班がある事を知れたことなどは私の中では貴重な経験でした。自分の班の中だけ見ていると気が付かない事ってあるんですね。

十一時台になるとどの班でも概ね作業を終了して綺麗に整っている光景になっていました。

今回は自宅周辺を綺麗にするという行事を通じて私自身改めてご近所のコミュニケーションの大切さを痛感した機会でした。取材に応じて頂いた皆様有難うございました！

(十六組 石川聡)



調整池周辺草刈り



七月十三日(日)、2025年度第一回の「調整池周辺草刈り」が実施されました。初めての取材ということで、緊張しながら向かった広袴公園では、九時開始予定の有志の方による草刈り機での刈取りが、少しフライング気味に始まりました。

あちらこちらから草刈り機の「キン、ガガガガー」という音が聞こえ、コンクリートから生えている草も難なく、そして皆さん手際よくあつという間に生い茂った草を刈り取っていきます。

九時を過ぎたところから、広袴会館の駐車場に用意された熊手や竹箒を手に、刈り取られた草を集めてボランティア袋へ入れていく方々が増え始め、写真を撮りながら一周していると、たくさんの方が作業されていました。

青々とした刈りたての草をボランティア袋へ詰め込んでいくお手伝いをしたのですが、合間

には水分補給のためのドリンクや塩飴が配られ、きちんと休憩をとれるように配慮されていると感じました。その場所がだんだん綺麗になっていくので達成感があり、とても清々しい気持ちになりました。

草を入れた収納袋（ボランティア袋）は、2カ所の集積場所へ運ばれ、回収日まで雨が入らないように閉じ口を下にして積んでいきます。

一通り作業が終わり、広袴会館で飲み物などのお土産をもらって帰る方や、休憩した後にまだもう少し！と刈り込みを再開されている方もいらっしやいましたが、広袴公園の外周はどこもスッキリとしていました。

できれば、ビフォー&アフターの写真を撮りたかったのですが、あまり上手く撮れず初めての取材は終了しました。作業中に手を止めてお話ししてくださったり、写真にご協力いただきました、ありがとうございます。

（十六組 内藤郁奈子）



広袴会館大掃除

六月十五日、広袴会館で恒例の大掃除が行われました。これは年に二回実施されるうちの一回目で、今回も多くの方が参加してくださいました。

参加者の皆さんは、それぞれ手際良く作業を進め、蛍光灯の掃除や床のワックスがけ、窓拭き、エアコンのフィルター掃除など、普段はなかなか手の届かない場所まで念入りに清掃。おかげで会館は見違えるように綺麗になりました。

外では、写真のように皆さんで和気あいあいとスリッパの汚れを落とす姿も。一つ一つ丁寧に作業する姿が印象的でした。

清掃で汗を流した後は、懇親会でさらに交流を深めました。

（八組 大石司）



2025（令和7）年度 広袴町内会及び地域の年間予定スケジュール

- | | |
|--------------------|-------------|
| ● 10月19日(日) | 広袴自主防災訓練 |
| ● 10月26日(日) | 鶴川連合交流運動会 |
| ● 11月8日(土)、9日(日) | 作品展示会 |
| ● 11月16日(日) | 広袴調整池 周辺草刈り |
| ● 12月29日(月)、30日(火) | 年末防犯パトロール |
| ● 1月10日(土) | どんと焼き |



※行事、日程、場所等は変更になる場合があります。開催案内の回覧等でご確認ください

安否確認訓練

六月八日（日）午前九時より、広袴地区にて大規模地震を想定した安否確認訓練が実施されました。

最大震度六弱以上の地震発生を想定し、会員が家族や住宅の安全を確認後、玄関先に白い布を結び、班の集合場所では班長に安否を報告する流れで行われました。

班長は報告がない会員宅を訪問し、白い布の掲示確認や声がけを行った上で、全班員の状況を「災害時安否確認表」に記録し、町内会館で委員に報告しました。自主防災隊が集計を行い、現地での確認と今後の対策を検討しています。

このような訓練は、地震など災害発生時に迅速かつ正確に対応するために非常に重要であり、地域の連携と備えを再確認する貴重な機会となりました。

（十三組 土屋充幸）



4組B班の安否確認訓練 ～LINEを使ってやってみた～

右の写真は、なんだか分かりますか？

六月八日、朝九時過ぎ。私のスマホに送られてきた「玄関先の白い布」の写真です。「ZOOMのオープンチャット」という機能を使ってみたのですが、いきさつはこうです。

・この日、能登に出かける予定があり、リアル参加ができなくなりました。どうする？

↓最近、流行の「ZOOMオープンチャット」を使えば、個人情報ばらさず、情報共有が可能！
↓総会で会長など役員の賛同も得て、実験的にやってみた、ということでした。

・その結果はというと・・・（委員の磯貝さんのコメントより）

「四班三グループの中では断トツに早く報告が上がりました。（それというの）班長さんが連絡のない会員さんのお宅を訪問する手間が省けたからだと思います」

・家を離れていた私も、妻が出してくれた白い布を見て家族の安否が確認出来ました。この試み、来年も続けるかどうか、みんなで会って話し合いたいと思っています。

（四組 篠田道秀）



安否確認訓練参加状況（2025年）

2025年6月8日（日）午前9時開始									
組	班	合計	○	×	参加率	白い布	掲示率		
1	A	19	18	1	95%	10	53%		
	B	10	10		100%	1	10%		
	C	8	7	1	88%	4	50%		
2	A	16	16		100%	10	63%		
	B	13	13		100%	9	69%		
3	A	13	13		100%	10	77%		
	B	15	14	1	93%	5	33%		
	C	12	11	1	92%	11	92%		
4	A	19	18	1	95%	8	42%		
	B	14	14		100%	8	57%		
	C	14	14		100%	10	71%		
5	A	11	10	1	91%	6	55%		
	B	22	19	3	86%	15	68%		
6	A	13	11	2	85%	7	54%		
	B	12	8	4	67%	5	42%		
7	A	22	22		100%	17	77%		
8	A	19	18	1	95%	8	42%		
	A	11	10	1	91%	6	55%		
	B	10	7	3	70%	6	60%		
	C	11	11		100%	8	73%		
9	D	24	22	2	92%	13	54%		

2025/6/8									
組	班	合計	○	×	参加率	白い布	掲示率		
10	A	9	9		100%	8	89%		
	B	9	9		100%	7	78%		
	C	10	10		100%	6	60%		
11	A	10	10		100%	5	50%		
	B	23	19	4	83%	17	74%		
12	A	4	4		100%	3	75%		
	B	11	10	1	91%	10	91%		
	C	15	13	2	87%	6	40%		
13	D	10	10		100%	7	70%		
	A	13	13		100%	13	100%		
14	B	14	14		100%	10	71%		
	A	23	23		100%	20	87%		
15	B	11	11		100%	10	91%		
	C	19	19		100%	13	68%		
16	A	6	6		100%	6	100%		
	B	14	12	2	86%	13	93%		
	C	12	12		100%	6	50%		
	D	14	13	1	93%	8	57%		
17	A	14	14		100%	13	93%		
	B	13	11	2	85%	5	38%		
	C	16	15	1	94%	7	44%		
	D	10	10		100%	6	60%		

	説明会時	訓練当日	○	×	参加率	白い布	掲示率
2025年	597	588	553	35	94.0%	376	64%
2024年	622	615	566	49	92.0%		
2023年		635	567	68	89.3%		
2022年		662	550	102	84.6%		

（広袴自主防災隊提供）

吉川動物病院

診療時間／午前9:00～12:00
午後3:30～6:30
日・祭日／休診

町田市広袴 3-3-11 ☎735-3487

かぶとむしの森を子どもたちと共に

～鶴二おやじたちの会 鶴川の緑地の整備・活用プロジェクト～

2003年に広袴に越してきた篠田です。翌年、小学6年生だった長男が通っていた鶴川第二小学校でかぶとむしビオトープを作るため、鶴川二小おやじの会を立ち上げ、その後も活動を続けていましたが、2010年頃、現場は現役世代に任せ、当時のメンバーと卒業生たちなどで「鶴二おやじたちの会」と改名し、鶴川地区の緑地や保育園、最近では、つるぼんなど、鶴二中の校区や東北や能登の被災地での活動を行っています。

今年、広報を担当させていただいた関係で、昨今の活動を紹介させていただきます。（4班 篠田道秀）

○活動エリアの草刈りを行っています。（町田市推奨のアダプト・プログラムの一環としては2023年度から）



←写真左が作業前、右が作業後

○メインの活動は、鶴川の森でカブトムシを増やす取り組み。



○春から夏、かぶと虫が卵を産めるように産卵場を作ります。7月、8月の活動では、子どもたちと幼虫をさがします。この時は近隣に住む田中さん親子が参加。捕まえた幼虫の体重を測定し、記録もとりました



○この森では、2018年から行われた『まちだ〇ごと大作戦』で「第二、第三のサトシを作れ！～“ポケモンを生んだ”町田の里山活用・大作戦～」を実施。その後も、月一のペースで活動を継続中。興味や関心のある方は、Facebook「鶴二おやじたちの会」をチェックしてみてください。

○鶴川団地で今年5月にオープンした図書コミュニティ施設「つるぼん」（旧 鶴川図書館）でも、かぶと虫をみんなで育て観察する活動や情報発信をさせてもらっています。インスタ「つるぼん」（tsurubon.libco）や現地（10時～17時 休館は毎週月曜、第二木曜、年末年始）など、お立ち寄りください。

広袴おりおり

第39回



ホオジロの狩りと子育て

尾根道の東端で、神明社方面に上がった先の里山の風情が残る丘一帯は野鳥の宝庫である。ホオジロもその一種であり、今回掲載の写真のほぼ全てが、そこでの撮影である。

ホオジロは森林の周辺や草原や果樹園など開けた土地に生息する。そのため里山のような環境を好む。雑食性で、昆虫類や植物の種子を採食する。

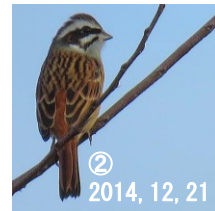
写真①がメスで②はオス。顔の褐色の模様が、オスは黒々と明瞭なのに対しメスは淡い。因みに幼鳥の場合は、淡いだけでな



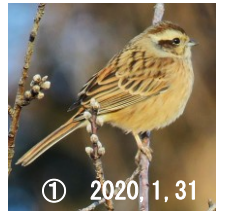
⑧ 2021, 7, 19 時刻 06:04



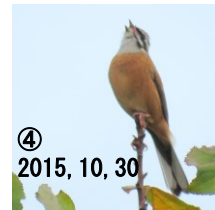
⑨ 2021, 7, 19 時刻 06:04



② 2014, 12, 21



① 2020, 1, 31



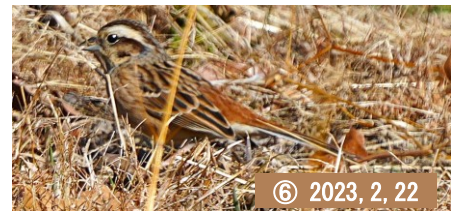
④ 2015, 10, 30



③ 2015, 10, 30



⑤ 2020, 1, 30



⑥ 2023, 2, 22



⑦ 2023, 2, 22

く顔の模様が不明瞭なのが特徴である。

③、④は梢に留まり、全方位に向けて囀っているオスの様子。秋には新しい相手を求めて囀りが盛んになる。胸を反らして嘴を上に向けて囀っている様子には、求愛の熱意が伝わってくるようである。

⑤、⑥はホオジロの採食の様子である。⑤は身軽にも枯れたススキの上に乗って残っている穂を嘴で削ぎ取っている様子である。⑥は草地で枯草に混ざっている落穂を採食している。写真が小さくて分かりづらく、口に落

穂を挟んでいる。

⑦はホオジロの群れの一部。冬になると群れる。実際には写真の二倍くらいいた。

⑧は夏の早朝のことで、ホオジロの狩りの様子。小さなカマキリの尾の部分の瞬間である。野鳥が昆虫などを狩る瞬間は時々見かけることなのだが、驚いたのは次の行動であった。そのホオジロが直後にカマキリを咥えたまま近くの樹木の上方の枝に留まるのをフライング越しに追いかけたら、そこにいたホオジロの幼鳥にカマキリを食わせていたのであった。その写真が⑨である。左が幼鳥で、顔の模様が不明瞭で嘴がまだ黄色い。

巣立ったばかりの幼鳥は、しばらく親から餌を与えられる。写真は正にその子育ての現場であった。

親からの餌が頼りのホオジロの図体なぞか親と変わらず (十六組 篠田泰蔵)

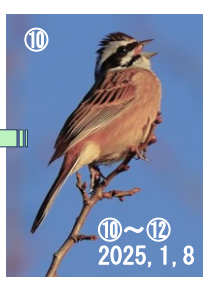


余話

左の三点は写真は同一のオスのホオジロである。

⑩は目立つように木の梢で囀って縄張りを主張し、同時にメスを求めてアピールしているものとみられる。実際には全方位に顔を向けてしきりに囀っていた。

⑫の通り正面を向いた姿は意外に細い。頭部も小さく、やや長く見え、⑪はまるでアルパカのようだ。



⑩~⑫ 2025, 1, 8



⑪



⑫